

# 教育研究業績書

2017年10月20日

所属：看護学科

資格：助教（臨床）

氏名：麻生 浩司

研究分野	研究内容のキーワード
精神看護学	精神科リハビリテーションに関する研究 統合失調症患者の転倒に関する研究
学位	最終学歴
修士	広島大学大学院保健学研究科博士課程前期

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 看護師	2004年3月	
2. 保健師	2004年3月	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1. 中年期以降の統合失調症患者の時間的展望に関連する要因の検討（修士論文）	単	2014年3月	広島大学大学院保健学研究科	中年期以降の統合失調症患者の自尊感情に関連する要因と時間的展望との関連を明らかにすることを目的とした。結果、時間的展望体験尺度の下位尺度得点について男女間で有意な差はなかった。また、自意識は時間的展望に影響を及ぼしておらず、抑うつ状態は過去受容に、IADLは目標指向性に負の影響を及ぼしていることが明らかとなった。今後は、看護師が臨床現場で実践できる介入方法を検討していく必要がある。
3 学術論文				
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. 精神科急性期治療病棟における統合失調症患者の回復過程に沿った入院期間別のケアの特徴	共	2010年1月	日本看護学会論文集 精神看護	A精神科病院の急性期治療病棟へ入院した統合失調症患者で、3ヵ月以内に退院した162名のうち、入院期間1ヵ月以内の4名、2ヵ月以内の4名、3ヵ月以内の4名を無作為抽出し、入院中のケア内容と1人当たりの総ケア回数と病日との関係について検討した。全対象者の総ケア回数をケア内容別で比較すると、最も多かったのは[睡眠休息]、次いで[モニタリング]、[与薬]、[心理的ケア]、[食事と水分]、[活動]の順であった。 共著者名：麻生浩司、木村泰介、小松恵、大久保忠義、吉川均、森下早苗、星野恵
3. 総説				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				
1. 統合失調症入院患者の視力が影響を及ぼす事象を検証する	共	2017年4月～	日本学術振興会	平成29年度科学研究費（基盤研究C：17K12509） 連携研究者（代表：藤原光志－関西福祉大学）

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2016年9月	第15回日本アディクション看護学会学術集会 実行委員
2. 2016年4月	日本精神科看護協会
3. 2014年9月	日本看護科学学会
4. 2013年6月	日本精神保健看護学会